

# (仮称)芦屋市福祉センターの実現に向けて

「構想案(中間まとめ)」への意見を募集します

## これまでの経過

市では、保健・医療・福祉の総合システム推進を目指し、その基盤整備として(仮称)芦屋市保健福祉総合センター基本構想を平成四年度に策定しました。

しかし、着工直前に発生した阪神・淡路大震災により工事を一時中止せざるを得なくなり、以来、市民の皆さんから整備を強く求められながらも、厳しい財政状況の中、事業は凍結されたまま経過してきました。そのような状況が続く中で、昨年「木口財団」という地域振興財団(以下「木口財団」といふ)から、凍結している総合福祉センター構想に対し、木口財団として協力できることがあるのかとの打診を受けました。

木口財団は、阪神・淡路大震災を契機に、障がい者のあるかたをはじめとした社会的弱者へのボランティア

## 市単独建設案と財団建設案との経費比較

＜建設予定の建物の面積等＞	
建物全体の総延床面積	10,000㎡
市が賃借する延床面積	7,000㎡
建設予定地の土地面積	6,000㎡

- 市が建設した場合の市負担額 81億4,600万円(①+②)
- ①建設費 36億4,900万円(実建設費28億円とする)  
\*計算方法 21億円は起債で借り入れて元利合計が29億4,900万円で、一般財源7億円を加えると、36億4,900万円となります。
- ②土地返済金 44億9,700万円  
\*計算方法 土地の簿価36億2,100万円を起債で借り入れて、元利合計が44億9,700万円となります。
- 木口財団が建設、市が賃借した場合の市の負担額 40億900万円(③+④)
- ③土地返済金 18億2,100万円  
\*計算方法 土地の簿価36億2,100万円から売却代金18億円(借置)差し引いて18億2,100万円となります。
- ④賃借料 21億8,800万円(賃借期間30年の場合)  
\*計算方法 賃借料は、約1億円/年(財団と協議中)土地・建物にかかる固定資産税・都市計画税の収入額は、約2,800万円/年(当初)

※市が賃借で行った場合、30年間で約39億円経費負担が少なくて済みます。

## 意見募集要領

△「構想案(中間まとめ)」  
市ホームページ等で公表(氏名等は非公表)する予定です。  
▽「意見は市の見解とともに市ホームページ等で公表(氏名等は非公表)する予定です。」  
※個別の回答はしません。

△「意見募集要領」  
市ホームページ等で公表(氏名等は非公表)する予定です。  
▽「意見は市の見解とともに市ホームページ等で公表(氏名等は非公表)する予定です。」  
※個別の回答はしません。

△「意見の提出先」  
10月11日から11月10日まで、持参・郵送・ファクス・Eメールのいずれかです。  
△「意見募集要領」  
市ホームページ等で公表(氏名等は非公表)する予定です。  
▽「意見は市の見解とともに市ホームページ等で公表(氏名等は非公表)する予定です。」  
※個別の回答はしません。

## 告知書を受け、市としての「中間まとめ」を策定しました。

現在では保健・医療福祉を取り巻く環境が変化しているため、今回「福祉センター」構想を策定するにあたり、現状にふさわしい施設のあり方を検討することとし、本年5月に(仮称)芦屋市福祉センター構想策定委員会を設置しました。  
また、構想策定にあたっては多くの市民の皆さんの意見が反映するため、「福祉センター」構想策定市民会議の開催やアンケートによる「市民意向調査」の実施、また主な福祉関係団体からの要望書や意見交換会などの意見を踏まえ、検討を重ねてきました。  
本年9月に、「福祉センター」構想策定委員会から「構想案(中間まとめ)」を策定しました。

## 芦屋市環境づくり推進会議「市民委員」を募集します

本市の環境を、より良い方向に導くための活動について考え、行動するための中心的な組織である「芦屋市環境づくり推進会議」の市民委員を募集します。

- 募集期間 10月1日～31日(当日消印有効)
- 人数 3人以内
- 応募資格 市内に居住し、応募時の年齢が20歳以上70歳以下のかた
- 報酬 1回3,600円
- 任期 10月～平成21年9月末(予定)
- 活動内容 平日または土・日曜日の昼間に、1回・2～3時間(年5～6回)程度 ※詳細は推進会議で決定
- 応募方法 「芦屋の環境についての思い」と題した作文(600字程度、書式自由)に、住所・氏名・電話番号・生年月日・性別を記入の上、郵送・ファクス、メール等で下記へ
- その他 応募原稿を審査の上、結果を本人宛に通知。※応募原稿は返却しません。

問い合わせ 環境課 ☎38-2051/FAX38-2162  
Eメール info@city.ashiya.hyogo.jp(〒659-8501 住所不要)

## 芦屋市緑の基本計画(案)に関する意見を募集します

本市全体の緑地の保全や緑化の推進を図るため、「芦屋市緑の基本計画(案)」について、市民の皆さんの意見を募集します。

- 募集期間 10月1日～31日
- 資料の入手方法 市ホームページほか、都市計画課・行政情報コーナーで
- 応募方法 様式は問いません。住所・氏名(団体名)・電話番号・ファクス番号、メールアドレスを記入し、郵送・ファクスまたはメールで下記へ。  
※電話・窓口での、口頭によるご意見は受け付けていません。ご意見は、市の見解とともに市ホームページ等で公表(氏名等は非公表)する予定です。個別の回答はしません。ご了承ください。

問い合わせ 都市計画課 ☎38-2109/FAX38-2164  
Eメール info@city.ashiya.hyogo.jp(〒659-8501 住所不要)

## あしや市民活動センター 利用時間変更等のお知らせ

「あしや市民活動センター」の利用時間が、次のとおり変わりました。  
なお、「あしや市民活動センター」の運営は、10月1日から「あしやNPOセンター」(NPO法人申請中)に委託します。  
■開館時間 平日・午前9時～午後7時15分  
土曜・午後1時～5時  
■休館日 日曜・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)  
■業務内容 市民活動の相談・利用者間の交流とネットワーク・情報の収集および提供・参画協働相談

問い合わせ あしや市民活動センター ☎57-0511  
Eメール aia@ashiyanpo.jp(精道町5-11)

## 環境にやさしい買い物をしましょう

10月は「地球環境時代!新しいライフスタイル 展開キャンペーン」月間です  
省エネ・環境にやさしい買い物・マイバック持参

問い合わせ 兵庫県環境政策課 ☎078-362-3156  
環境処理センター ☎32-5391

## 小学校入学前健康診断

平成20年度小学校入学予定者(平成13年4月2日～14年4月1日生まれ)の保護者のかたに、10月中旬頃までに「就学通知書兼健康診断通知書」を郵送します。指定された日時に、通知書および母子手帳を持参の上、指定校で健康診断を受けてください。なお、次のいずれかに該当するかたは、下記へお問い合わせください。  
①指定日に都合が悪い②住民登録地と居住地が異なる③外国籍で市立小学校に入学を希望④大原町・上宮川町・業平町にお住まいで、岩園小学校に入学を希望⑤前田町・清水町にお住まいで、精道小学校に入学を希望  
■指定日 精道小学校・11月8日(木)/宮川小学校・11月1日(木)/山手小学校・10月24日(水)/岩園小学校・10月16日(火)/朝日ヶ丘小学校・11月1日(木)/潮見小学校・10月16日(火)/打出浜小学校・10月25日(木)/浜風小学校・10月22日(月)  
※時間は、いずれも午後1時30分から健康診断を開始します。

問い合わせ 教育委員会管理課 ☎38-2085

## 秋の公民館講座

問い合わせ 公民館 ☎35-0700/FAX31-4998(〒659-0068 業平町8-24)

【マヤ・アステカと南米アンデス文明を行く】  
■日時 11月5日～12月3日(月)午前10時～11時30分<全4回> ■会場 市民センター218室 ■内容 「0の概念をもったマヤ語とチョコレートが世界を豊かにする」国立民族学博物館教授・八杉佳徳氏/「甦るインカ道とキープ、ユバーナ」奈良大学教授・青木芳夫氏ほか ■定員 60人 ■受講料 1,300円

【世界に一つだけの絵本を作ろう】  
■日時 10月24日～12月12日(水)午前10時～11時30分<全5回> ■会場 市民センター203室 ■内容 手作り絵本の話聞き、手作りの絵本を作ります。最終会は作った絵本を見ながら交流会 ■講師 絵本グループ色えんびつ代表・石塚美穂氏 ■定員 40人(託児あり) ■受講料 3,100円(教材費1,000円別)

【歴史を探る一日本の謎 Part5】  
■日時 10月26日～3月21日(金)午前10時～11時30分<全6回> ■会場 市民センター401室 ■内容 「古代最大の帝王・聖武天皇」「平将門の乱」「ポーツマス条約とその後の日米関係」「栗林忠道と硫黄島の戦い」ほか/城郭・歴史研究家・菅原美文氏 ■定員 60人 ■受講料 1,900円

【考古学と日本古代史の接点に迫る 一古代兎原郡の原風景】  
■日時 10月19日～12月7日(金)午後1時30分～3時<全6回> ■会場 市民センター401室ほか ■内容 「木簡から見る古代の生活・文化」京都教育大学名誉教授・和田萃氏/「古代西摂地域歴史的特色」大阪市立大学教授・宗原永遠男氏/「摂津国のおこり」大阪府立大学名誉教授・直木孝次郎氏ほか ■定員 60人 ■受講料 1,500円

【市民が創る公民館講座「文学における古典と現代」】  
■日時 10月27日～12月1日(土)午前10時～11時30分<全4回> ■会場 市民センター218室 ■内容 「連歌について」①② 芥川賞作家・高城修三氏/「俳句について」佛教大学教授・坪内稔典氏/「詩について」詩人・倉橋健一氏 ■定員 60人 ■受講料 1,300円

【芦屋大学公開講座Part3「人間関係とアスレジャー」】  
■日時 10月27日～12月8日(土)午前10時～11時30分<全4回> ■会場 市民センター401室 ■内容 「人間の可能性は限りなし」芦屋大学学長・倉光弘己氏/「アスペルガーと知能」精神科医・油井邦雄氏/「パニック坊やが偉業をなす」司法臨床法と心理鑑定」芦屋大学教授・井上敬明氏 ■定員 60人 ■受講料 1,000円

【世界はニュースだけではわからない(時事経済解説)】  
■日時 10月20日～3月15日(土)午後2時～3時30分<全6回> ■会場 市民センター401室 ■内容 「どうなっているのか、日本経済と格差の拡大」神戸大学教授・二宮厚美氏ほか ■定員 100人 ■受講料 1,900円

【芦屋病院公開講座「診療最前線からのメッセージ」】  
■日時 10月27日～3月8日(土)午後2時～3時30分<全6回> ■会場 市民センター401室ほか ■内容 「がんの予防と早期発見ー生活習慣病の立場から」姫野誠一芦屋病院院長/大腸がんに対する抗がん剤治療の進歩」古林孝保腫瘍内科部長/「糖尿病治療の展望」金山良男副病院長ほか ■定員 60人 ■受講料 1,000円

※申し込み方法 講座名・住所・氏名・電話番号を記入し、はがきかファクスで、10月10日(水)<消印有効>までに公民館へ。応募多数の場合は抽選(市内在住のかた、優先)。託児希望のかたは、申し込み時に明記のこと。2歳児以上就学前幼児対象。1回300円

## 公民館の催し

問い合わせ 公民館 ☎35-0700/FAX31-4998(〒659-0068 業平町8-24)

【押し花講習会・2回連続】  
■日時 10月11日・25日(木)午前10時～11時30分 ■会場 市民センター217室ほか ■内容 押し花のおしりと額作り ■定員 先着20人 ■受講料 1,000円 ■申し込み ファクスか電話で、催し名・住所・氏名・電話番号を記入し、公民館へ。

【親学セミナー】  
■日時 11月9日(金)午前10時～11時30分 ■会場 市民センター401室 ■内容 「子ども気持ちに耳を傾けていますか」親学訓練シニアインストラクター・小野澤みさを氏 ■定員 20人 ■受講料 300円※PTA会員無料(託児あり) ■申し込み はがきかファクスで①講座名②住所③氏名④電話番号を記入し、10月10日(水)(消印有効)までに公民館へ。応募多数の場合抽選(市内在住のかた、優先)。託児(300円)希望の場合は、子どもの年齢・性別記入のこと。  
※PTA会員は、所属のPTAへ申し込んでください。

## 芦屋の人



撮影・桑田敬司(ハナヤ勤兵衛)

私は、成人するまで神戸・西宮の阪神間に育ちました。子どものころは東灘区に住んでいましたが、芦屋には浜へよく泳ぎに行きましたし、芦屋には景でした。また、ロッソガーデンから六甲に登ったりして、自然や町並みに親しみを持っていました。

社会人になって、関西と東京を往復する生活でしたが、かつての芦屋浜にシーサイドタウンが完成した昭和五十六年、自宅をこちらに求めました。平成七年の阪神・淡路大震災のときは東京にいましたが、三年後の平成十一年に芦屋に戻り、現在に至っています。震災で、故郷であるこの阪神間が大きなダメージを受けている現実にも、自分として何ができるのだろうと考えようになり、芦屋を拠点に「自然と

以前視察した英国ナショナルトラスト運動を生かした活動を推進していく運動をなすていきました。その中から、この運動は、自然や歴史的建造物など貴重な財産を多くの人々の募金で自ら所有して守っていくというものであります。十九世紀末の英国で、荒廃したこの環境を保全するために誕生したこの民間運動は、今では世界を代表する環境保護運動になっています。

阪神間は、全国でも明治以降の洋館建築が集積している文化財の宝庫と言えます。

私は、勉強会のメンバーでもあった建築士や関心の高い仲間ともに、二〇〇〇年に「アメニティ2000協会」というNPOを設立し、二〇〇二年から三年間をかけ、神戸・芦屋・西宮の三市を対象に、戦前からの歴史的建造

物がどのような状況にあるのかの実態調査を実施しました。対象とした建築物五百六十件のうち、現状を確認できたのは四百件。震災を挟んだこの十数年で四分の一の建物が失われていました。原因は、震災による倒壊・解体が多いもの、震災相続の発生によるものも少なからずありました。また、存在は確認できたものの、将来の行方が懸念される建物のみも出合いました。その中で、緊急性があり重要性もあると判断し、自ら保存活動をすることを決めたのが、旧乾邸と「六甲山荘」なのです。

旧乾邸は、一九三六年に神戸市東灘区住吉山手に建てられた、建築家渡辺節設計の、阪神間を代表する洋館邸宅です。所有者が死亡したため国に物納され、競売になる恐れがありました。そこで、地域財産の存在を知ってもらおうと、内覧会などの公開活動を始め、来場者は今年三月で二万人に達しました。

●清水彬久(しみず・よしひさ)氏 昭和二十一年生まれ。昭和五十六年から芦屋市民。平成十二年にNPO法人「アメニティ2000協会」設立。同協会理事長。潮見町在住。

## 夜間(17:00～9:00)水道修理事当番表【10月】

水道の修理は「芦屋市指定水道工事事業者」へ

店名	TEL	当番日
中央水道工務所	22-3552	1. 7. 13. 19. 25
原田商会	22-0706	2. 8. 14. 20. 26
越智商会	22-3708	3. 9. 15. 21. 27
西岡設備工業所	22-6900	4. 17. 23. 29
前忠工業株	31-8548	5. 11. 24. 30
尚神明商会	22-3565	6. 12. 18. 31
南大阪商会	32-6302	10. 16. 22. 28

●平日の昼間は水道部へお尋ねください。  
●土曜日・日曜日・祝日は市役所(☎31-2121)へお尋ねください。  
●夜間の修理は右の業者が待機しています。

問い合わせ 水道工務課 ☎38-2083

## 市営自転車駐車で回数券発売

10月15日から、新たなサービスとして一時利用の回数券(11枚綴り)を発売します。価格は、自転車1,000円、原動機付自転車2,000円、自動二輪車3,000円です。回数券は、各自転車駐車場の管理棟で購入できます。※自動二輪車については、受け入れられている駐車のみの利用となります。詳しくは、次の指定管理者へ。  
■ミディ総合管理・西宮事務所 ☎0798-23-0805  
JR芦屋駅北、JR芦屋駅南3、阪急芦屋川駅北、阪神打出駅前各自転車駐車場を利用の場合  
■自転車駐車場整備センター ☎06-6449-0991  
阪神芦屋駅前各自転車駐車場を利用の場合

問い合わせ 道路課 ☎38-2063

## こどもフェスティバル

今年も、「こどもフェスティバル」へ、親子一緒にご参加ください。※公共交通機関をご利用ください。  
■日時 10月27日(土)午後1時～3時30分<雨天決行> ■会場 体育館・青少年センター ■対象 おおむね乳幼児 ■内容 ステージ・遊び場ブースほか ■持ち物 靴を入れる袋

問い合わせ こども課 ☎38-2045



## 市立幼稚園の新入園児を募集します

全市自由園区(小学校には校区があります)です。ただし、徒歩通園できる幼稚園をお選びください。  
※できるだけ、受付指定日にお申し込みください。  
■資格 市内在住で、平成14年4月2日から16年4月1日の間に生まれた5歳児(1年保育)・4歳児(2年保育)  
■申し込み 各幼稚園の受付指定日に各幼稚園へ。定数を超える場合は、ご希望の園に入れない場合があります。なお、入園願書の提出は1園のみに限ります。  
■指定日 精道幼稚園・17日(水)/宮川幼稚園・18日(木)/岩園幼稚園・18日(木)/小植幼稚園・19日(金)/朝日ヶ丘幼稚園・18日(木)/西山幼稚園・18日(木)/伊勢幼稚園・18日(木)/潮見幼稚園・18日(木)/浜風幼稚園・19日(金)  
■受付期間 10月12日～19日、いずれも午後2時～3時  
■願書配布 10月2日(火)から各幼稚園で

問い合わせ 教育委員会管理課 ☎38-2085